

まつえ 市議会だより

No. 60

2024
4月臨時会・6月定例会

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER



4月臨時会、6月定例会

一般会計補正予算などについて審議

P2~4

委員会行政視察報告

総務委員会など4つの常任委員会が実施

P12~13

6月定例会一般質問

18名の議員が防災・公共交通など質問

P5~9

特別委員会報告

新庁舎建設特別委員会など3つの特別委員会を開催

P14

(シリーズ)

松江の元気なこどもたち⑳



「砂場でプールをつくったよ!」

—やっか保育園—

「ここに穴を掘ろうよ」「お水流すよ～」と考えを出し合っ
てプール作りを楽しむこどもたち。

砂場プールができあがると、みんなで入り、ひと足先に
プール気分を味わっていました。(取材:海徳委員長、三島委員)

4月臨時会

令和6年4月22日

物価高騰対策として11億4,051万円(令和6年度松江市一般会計補正予算(第1号))を決定 及び 松江市議会議員定数条例を改正

令和6年度松江市一般会計補正予算(第1号)

令和6年分所得税及び令和6年度分個人住民税所得割から定額減税(令和6年6月以降順次実施)しきれない納税義務者に対して差額を調整給付するもの。また、令和6年度に新たに住民税非課税及び均等割のみ課税となる世帯に対して給付を行うもの。

松江市議会議員定数条例の改正

…令和7年4月の改選(予定)から議員定数を「34人」から「31人」にすることを決定

松江市議会では、次期選挙からの議員定数について、議員定数等調査特別委員会を設置し、議論を重ねてきました。類似の市議会の議員定数の状況、議員1人当たりの人口・面積などを調査し、適正な議員定数について協議を行いました。

特別委員会において、議員定数を削減する方向を決定して以降、定数を「30人」、「31人」、「32人」とすべきといった意見がありましたが、公共的団体やパブリックコメントを通じて寄せられた意見も参考にして、特別委員会として定数を「31人」とすることを決定しました。

本会議では、6人の議員が討論に立ち、採決の結果、賛成多数で定数を「31人」とすることを議決しました。本会議での討論は以下のとおりです。

- ・他自治体が削減していることは、松江市としての理由とはならない。公共的団体への意見聴取においても現状維持の意見、定数を増やすべきとの回答もあった。市民の中には多様な声を反映してほしいという意見があり女性議員を増やすためにも現在の「34人」は必要であり反対。
- ・人口は今後も減少が見込まれ、現在3人減で議会運営に支障を生じていない。各種団体の多くの意見から「30人」とする主張を行ったが、各会派の意見がまとまらなかった。多くの議員の意見がまとまるのが大切で、数を競い、定数を決めることができないと削減ができない。総合的に勘案して「31人」とすることに賛成。
- ・合併前の旧町村を含めた議員は「156人」であった。地域の代表者を急に減らさず、時間をかけてバランスの取れた市政運営が必要であり、「34人」から3人減の「31人」が妥当と考え賛成。
- ・市民の声を行政に届ける大切な役割を今後も果たす決意で、現時点では「31人」とすることが最も適切と考え賛成。
- ・山陰の同規模の鳥取市が「32人」、出雲市が「30人」であり、29公民館区に2人程度加えた「31人」が必要と考え賛成。
- ・議員定数は偶数とすべきであり、賛否同数の場合の採決は、議長に大変重い責任を負わせることになる。公共的団体の14団体中、8団体から「30人」が適当との意見があった。これは民意であり、「31人」とする案は反対。

6月定例会

令和6年6月11日～7月3日

新型コロナウイルスワクチン接種事業費、松江市総合体育館改修整備(新B1入会基準適合へ向けた実施設計)などについて審議

今議会は、市長提出議案39件を審議し、すべて原案どおり可決・承認(全会一致37件・賛成多数2件)しました。また、議員提出議案3件について審議・議決(可決3件)しました。

一般質問には18人の議員が立ち、公共交通、災害対策、宿泊税、消防団の人材確保、クーリングシェルターなどについて市長や執行部の見解を問いました。

令和6年度松江市一般会計補正予算(第2号) 7億6,198万円増

1. 松江市総合体育館改修整備
(プロバスケットボール新B1入会基準適合のための改修) 1億3,310万円
2. 新型コロナウイルスワクチン定期接種の実施
(令和6年秋冬接種を、高齢者を対象に定期接種として実施) 3億6,646万円
3. その他
(堀川美化事業、台湾青年招致事業、鉄工団地用地取得費など) 2億6,242万円

令和6年度松江市一般会計補正予算(第3号・第4号)

- 老人福祉施設整備事業費補助金について(第3号)
(養護老人ホーム改築の補助事業において繰越明許費の補正を行うもの) 1億8,558万円
- 物価高騰対策について(第4号)
(定額減税しきれない納税義務者への調整給付事業費を増額) 5億8,533万円

条例の改正(主なもの)

松江市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部改正について

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正等に伴い、条例において引用する条文を対応して改正するもの。

審議した議案等

市長提出案件	39件	
内訳	条例案件	9件
	一般案件	18件
	予算案件	4件
	承認案件	8件
議員提出案件	3件	
陳情	4件	
合計	46件	

予算の概要
(松江市ホームページへ)



補正予算第1号



補正予算第2号



補正予算第3号



補正予算第4号

議員提出案件の審査結果

	件名	結果
議員提出議案 第4号	地方財政の充実・強化に関する意見書について	原案可決(全会一致)
議員提出議案 第5号	緊急防災・減災事業債制度の継続・拡充を求める意見書について	原案可決(全会一致)
議員提出議案 第6号	中国横断新幹線(伯備新幹線)及び山陰新幹線の整備促進を求める意見書について	原案可決(賛成多数)

常任委員会報告〈主な審査内容(質問に対する市の答えを掲載しています。〉

総務委員会…議案14件「原案可決・承認」

(6/20開催)

松江市職員の給与に関する条例の一部改正について

松江市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について

- 初任給調整手当の上限額を月額3万円としたのは、市内の民間建設事業者の初任給が松江市職員よりも2万5,000円程度高く、地域手当が支給されている都会地の自治体との人材獲得競争に負けないためである。

松江市総合体育館改修整備管理運営事業施設整備業務の請負契約締結について

- 総合体育館の改修内容は、観覧席を5,014席確保するほか、試合会場が直接見えるスイートを5つ、新設する増築棟にトイレを46基設置する。また、増築棟の1階に飲食施設として売店を設ける。

教育民生委員会…議案10件「原案可決・承認」、陳情3件「不採択」

(6/21開催)

松江市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

- 保育士の配置について、3歳児の基準である15対1、4・5歳児の基準である25対1での配置ができていない園が数施設あるものの、おおむね充足している。

松江市児童クラブ条例の一部改正について

- 公設の児童クラブの今後の方向性について、国通知への対応や労務管理、会計管理のほか、児童の事故に対し運営委員会が第一義的な責任を負うといった様々な課題に対し、運営主体を専門知識を有する法人格に移行していくべきと考えている。

経済委員会…議案3件「原案可決」

(6/24開催)

財産の取得について(島根町加賀潜戸観光遊覧船を造船し取得するもの)

- 北海道の知床遊覧船の事故では、船の位置の特定に時間がかかったため、造船する船体の安全運航対策として非常用位置等発信装置を取り付ける。

令和6年度松江市企業団地事業特別会計補正予算(第1号)

- 企業団地の残り5区画のうち2区画は商談中であるため、企業に紹介ができるのは平成町にあるクリアヒル松江が1区画、朝日ヒルズ工業団地が2区画である。

建設環境委員会…議案8件「原案可決」、陳情1件「不採択」

(6/24現地視察、6/25委員会開催)

公の施設の区域外設置に関する協議について

(一畑バス路線廃止に伴いコミュニティバス路線を新設するもの)

- 松江市と雲南市それぞれ地域公共交通会議で協議後、運輸局に登録申請を行い、雲南市と公の施設の区域外設置に関する協議を行い、覚書を締結する。令和6年10月の運行開始までに協議を重ね、スムーズに運行ができるよう努める。車両および運行事業者は雲南市が手配する。費用負担の割合については調整中である。

松江市普通公園条例の一部改正について(ステラビレッジ西尾公園)

- 松江市開発行為に関する公園施設の計画指針で、原則高さ1.2m以上のメッシュフェンスなどを設置し安全を確保するよう規定している。危険性が確認されれば、啓発看板などを設置し安全の確保を進めたい。



【現地視察】都市再生整備計画について白潟地区を視察

予算委員会…議案5件「原案可決・承認」

令和5年度松江市一般会計補正予算（第10号）

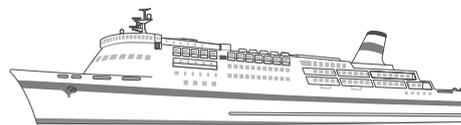
令和6年度松江市一般会計補正予算（第2号） 令和6年度松江市一般会計補正予算（第3号）

総務分科会 6/20	●説明のあった項目	①松江市総合体育館改修整備管理運営事業費について ほか
	●執行部の説明	①Bリーグの2026－27シーズンの開幕に向けて、松江市総合体育館をプロバスケットボール新B1入会基準に適合したアリーナへ改修するとともに、機能強化を図る整備を行うための設計に係る経費を計上するもの。



教育民生分科会 6/21	●質疑のあった項目	①養護老人ホームの改築に対する補助事業にかかる人員の不足、工期の延長について
	●執行部の答弁	①当初、事業者からは10か月程度の工期が必要との話であったが、5月にあがってきた実施設計により、工期が12か月程度かかると判明した。年度をまたぐことが判明したため、繰越明許とした。なお、木材の調達、空調設備、フローリング材などの調達に時間がかかり、作業員については全国的に人員の確保が進みにくいと伺っている。

経済分科会 6/24	●説明のあった項目	①商工業振興対策事業について ②中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金について ほか
	●執行部の説明	①令和4年10月に締結した中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市との交流促進覚書に基づき、ビジネス、観光、文化・スポーツ分野における交流を推進するため、高い専門性を持つ台湾の人材を採用する。 ②境港と韓国の東海港の間の国際定期貨客船の運航再開に合わせ、圏域のインバウンド拡大や貿易促進につなげるため、鳥取県と協調し圏域市長会も運航経費の一部を支援する。



建設環境分科会 6/25	●質疑のあった項目	①除雪の体制について ②堀川の管理作業船の今後の計画について ほか
	●執行部の答弁	①除雪車にGPSを積み、除雪の進捗状況を市でも監視をしながら、できるだけ市民の方へのタイムラグがないように対応していきたい。また、毎年、早い段階で除雪会議を開催し、一次路線・二次路線・その他路線を決めて、重要路線から除雪を行っている。 ②既存の1隻に加え、今回、電動船を1隻追加し、当面はこの2隻で管理していく計画である。

令和6年度松江市一般会計補正予算（第1号）※4月臨時会提出議案

令和6年度松江市一般会計補正予算（第4号）

●物価高騰対策について

定額減税しきれない納税義務者に対して支給する調整給付金の、給付が終わる時期についての質疑に対し「申請期限は令和6年10月31日までとしており、インターネットもしくは紙での申請を受け付け、令和6年12月初めごろに最終の振り込みが終わる予定としている」との答弁がありました。

6月定例会 一般質問

市政のここが聞きたい 18人の議員が質問

6月定例会では、6月17日、18日、19日の3日間にわたり18人が一般質問を行いました。
紙面の限りがあるため質問した議員本人が通告した項目の中から一つを選び、要旨をまとめたものを掲載しています。なお、写真右のQRコードを読み取っていただくと当日の映像をご覧ください。



いわもと まさゆき
岩本 雅之
(志翔の会)



- 公共交通の再編とまちづくり
- 島根県知事公舎の活用について



会派代表質問

質問 交通の結節点について、公共交通の再編を 考える上でのポイントは何か

地域エリアをつなぐ中心的な交通の結節点について、公共交通の再編を考える上でのポイントを伺う。

回答 交通の利便性だけでなく、まちづくりや にぎわいづくりの観点から設定する

地域間をつなぐ交通結節点を設けるにあたり、交通の利便性の観点だけでなく、まちづくりやにぎわいづくりといった観点から設定することがポイントとなる。その場所自体が目的地となり得る拠点性の高い場所を結節点として設定するとともに、待合スペースの確保に併せて、屋根やベンチ、Wi-Fi環境を整備するなど、ハード面の充実も図っていきたい。



しみず あきら
三島 明
(明政会)



- 定年引き上げの影響と課題について
- 地方公共団体に対し、国が財政負担を求めることについて
- 教員の働き方改革と不登校支援について
- 消防団の人材確保と消防操法大会について
- 太陽光発電設備に対する考え方について

会派代表質問

質問 急増する太陽光発電事業への規制が必要では

太陽光発電の急激な増加に伴い、地域におけるトラブルも増加している。何らかの規制をかけていく必要があると考えるが、松江市の考えを伺う。

回答 令和6年度中の条例制定を目指す

条例を制定し、事業者による住民説明会の開催を義務化した市町村では説明会が適切に実施され、設備導入に伴うトラブルは発生していないと聞く。また、住民への説明についての報告書の提出を求めるなど、きめ細かい対応を講じている事例もある。

再生可能エネルギーの適切な導入に向けて、国の法令やガイドラインを本市の実情に合わせて補完するとともに、豊かな自然や歴史的景観を守り、再生可能エネルギー事業に対する市民の不安や懸念を払拭するため、令和6年度中の条例制定を目指す。



おざわ いちりゅう
小澤 一竜
(松政クラブ)



- 衆議院島根県第一区選出議員補欠選挙について
- 山陰新幹線・中国横断新幹線について
- 境港出雲道路について
- 緊急防災・減災事業について
- 観光振興について
- 情報発信について

会派代表質問

質問 各種支援事業を広報周知する際、 解説動画を作成してはいかがか

昨今、ユーチューブを視聴する世代も増え、動画による情報収集も主流となってきている。松江市の公式LINEも始まり、プッシュ型で必要な情報を届けることも可能になった。よりの確なタイミングでフェアに、複雑な制度でも申請のハードルを下げることでできる広報周知の手段として、各種支援事業の解説動画を作成してはいかがか。

回答 新規制度導入などの機会を捉え、 手続きの方法を動画にまとめて発信する

新規制度導入などの機会を捉え、手続きの方法を動画にまとめて発信するなど、市民に分かりやすく、正確に情報を届けられるよう努める。



つもと りょうじ
津森 良治
(民主ネットワーク)



- 地方自治法の改正についての見解について
- 地方創生への取組の評価について
- 食料・農業・農村基本法の改正について
- 能登半島地震の教訓を踏まえて
- 宿泊税について
- 有害鳥獣への対策（対応）について

会派代表質問

質問 防災拠点機能を有した施設の整備を行うべき

島根半島において道路が寸断された場合も想定し、迅速に支援できるよう防災拠点の整備を進める必要があると考える。それも、孤立集落が発生した場合に必要な食料備蓄、及び物資輸送の拠点、さらには旅行者等の緊急避難所としても使える防災拠点機能を有した施設の整備を行うべきと考えるが、いかがか。

回答 半島部における災害対応力を強化するため、 防災拠点の整備を検討する

本市は、半島部の集落へ物資の輸送が困難になった場合を想定し、県と協力して食料等を半島沿岸部の地域に分散備蓄する方向で検討を進めている。また、半島部における災害対応力を強化するため、生活に必要な物資を保管する防災倉庫の機能や、物資の輸送拠点となり、旅行者などの緊急避難に必要な駐車場機能を併せ持った防災拠点の整備を検討していく。



かいとく くにひこ
海徳 邦彦
(公明クラブ)



- クーリングシェルターについて
- 多胎妊婦への支援拡充について
- 定額減税等について
- 宿泊税について
- バスの共同運行について
- 自治体窓口におけるカスタマーハラスメントについて

会派代表質問

クーリングシェルターの体制強化を

質問 官民挙げて取り組むべき

熱中症特別警戒アラートの発令時、危険な暑さから誰でも気軽に避難できるクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の体制強化を官民挙げて取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

松江市30施設、島根県7施設、

回答 スーパーなど7施設の指定に向けて協議中

本市が管理する公共施設については指定に向けた最終調整を行っており、6月末までに30施設を指定する見込みである。また、市内に所在する県が管理する7つの公共施設と、スーパーなど7つの商業施設についても、クーリングシェルターの指定に向けて協議を行っている。7月中旬には協定を締結した上で、クーリングシェルターに指定したい。



むらまつ
村松 りえ
(志翔の会)



- 北朝鮮による日本人拉致問題
- 投票環境向上への取り組み
- 義務教育学校における教科書採択
- 松江カントリークラブ跡地のメガソーラー建設

太陽光発電だけでなく、風力発電も

質問 規制できる条例の制定が必要

太陽光発電は、パネルの破損から火事につながる恐れがあり、感電の危険があることで消火活動に支障をきたす。寿命が来たパネルの大量廃棄、パネルに使われる有害物質の流出など、懸念事項は多々ある。森林伐採を伴うものは、自然環境の破壊、災害のリスク、景観の悪化などにつながる。これは風力発電も同様である。そのため、太陽光発電と風力発電の適正な設置や管理、規制をするための条例制定を検討していただきたい。

風力発電も含めた条例制定に向けて

回答 検討を進める

令和6年度中に、太陽光発電だけでなく風力発電も含めた条例の制定を目指して検討を進める。



の の うち まこと
野々内 誠
(松政クラブ)



- 松江城の保存活用について
- 市営バスと一畑バスの共同経営を問う
- 被災者支援のためのボランティアセンターについて
- 公共施設の管理について

質問 学校・公民館等の修繕計画を問う

市内の各施設、特に学校施設や公民館施設など、建設から十数年以上経ち、雨漏りや壁の塗装などの対策が行われていない状況も多く見られる。定期的な修繕を行うべきと考えるが、壊れたり修繕が必要になってから対応しているように見受けられる。修繕計画は適正に計画されているのか、また計画通りに行われているのか伺う。

回答 計画や定期調査により適切に行っている

学校設備の修繕は、空調・トイレなどの設備の種類ごとに策定している整備・改修・利用のための計画により着実に実施している。一方、校舎等の建物の維持修繕は、関係法に基づき3年に1度の定期調査の結果を踏まえ、緊急性の高いものから優先順位をつけて行っている。公民館も同様に、計画や定期調査により行っている。緊急時に避難所となる学校や公民館の維持管理は、適切な状況把握と対応に努めていく。



ほそぎ あけみ
細木 明美
(明政会)



- 地域公共交通について



松江市の交通体系の将来像を早く見せて

質問 いただきたい

公共交通体系のあり方を検討する有識者会議の第1回が開催された。事業者や専門家や市民と議論を重ね、松江市の交通体系の将来像を早く見せていただきたい。市の見解を伺う。

令和7年10月から再編した路線での

回答 運行を開始したい

5月29日に開催した第1回「公共交通で暮らしやすい未来を実現するプロジェクトチーム」において、令和6年10月までに各公共交通の役割分担を整理し、令和7年3月までにその役割分担に基づき市内の公共交通体系を整理するスケジュールを示した。令和7年10月から再編した路線での運行を開始したいと考えており、実行可能な施策は随時実行し、検討の進捗に合わせて市の交通体系の将来像を市民に示していきたい。



おおた さとし
太田 哲
(公明クラブ)



- 相続登記の申請義務化について
- 終活支援の取組みについて
- **放課後児童クラブについて**
- クラブ活動について
- 県知事公舎の活用策について

放課後児童クラブの待機児童数と今後の運営方針について

質問

放課後児童クラブの待機児童は何人か、地域ごとの現状を伺う。また、4つの児童クラブについて公募による指定管理者制度により民間事業者等への移行が示され、令和7年から3年間、その効果を検証される。松江市は公設児童クラブについて、今後どのように考えているのか伺う。

待機児童は44人。安定的な運営実現のため

回答 民間事業者への移行を進めたい

公設児童クラブの待機児童数は令和6年5月1日時点で44人であり、内訳は津田小学校区26人、持田小学校区3人、玉湯学園校区13人、揖屋小学校区2人となっている。任意団体の運営委員会等には、運営責任や労務管理、専門性の点で大きな負担がかかっている。児童クラブの安定的な運営を実現していくため、こどもの預かりの専門性と運営実績を兼ね備える法人格を有する民間の団体等への移行を進めたいと考えている。



やまね ひろし
山根 宏
(民主ネットワーク)



- 路線バスについて
- 宿泊税について
- **いざという時に災害に強い松江づくり**



質問 松江市も国防の最前線と考えるが

美保基地が隣接市にあり、それに伴い松江市内では訓練飛行区域が設定されている。また、レーダー設置箇所もあり、言わば、この松江市も国防の最前線と考えるが市長の見解を伺う。

決して楽観はできず、

回答 今後の動向を注視していく

現在の安全保障環境の特徴として、政治・経済・軍事等にわたる国家間の競争や対抗が顕在化して、力を背景とした一方的な現状変更等、国際秩序への挑戦が世界的な課題となっている。日本の周辺でも軍事活動の活発化や軍事力を強化する動きが顕著となっている中で、本市と北朝鮮との物理的な距離を鑑みれば、決して楽観はできず、今後の動向を注視していく必要がある。



はらだ まもる
原田 守
(松政クラブ)



- 男女の構成比について
- 松江市の人財育成について（松江市職員「ひとづくり」基本方針から）
- **通学路等の安全性について**



横断歩道や「止まれ」、スクールゾーンなどの標示の補修の実施状況は

質問

横断歩道や「止まれ」、スクールゾーンの標示の補修はどのような過程で実施されるか。また、補修の要望に対し、実施数及び実施率はいかがか。

道路交通法による標示は警察が対応し、

回答 スクールゾーンは市と道路管理者が対応

横断歩道の白線や、一時停止線等の道路交通法による標示の補修は警察が所管し、令和4年度実績で67件の要望に対し51件が実施され、実施率は76.1%である。スクールゾーンの標示の補修は、本市教育委員会と道路管理者が連携して対応しており、要望のあった12件について令和6年度中に完了する予定としている。



よねだ ときこ
米田 ときこ
(明政会)



- **食料・農業・農村基本法改正について**
- 食品ロス削減について
- 食育と学校給食について
- 終活支援について

防災対策として、農地を守るために

質問 自己負担金を減らす取り組みができないか

食料・農業・農村基本法改正により「農村の総合的な振興」に「防災」が明記された。農地災害は自己負担金の支払いが先に必要で、耕作放棄のきっかけになってしまう。更なる自己負担金を減らす取り組みはできないか伺う。

復旧工事費が40万円以上の場合、

回答 半額を国庫補助、15%を市が補助する

農地被災の復旧工事費が40万円以上の場合、半額を国庫補助、15%を市が補助し、65%の補助率となる。国による災害査定終了後、国庫補助率を上げる申請を市から国に対して行い、被災農家の自己負担額が減らせるよう支援している。農地災国庫補助率は、令和3年度94.0%、令和4年度86.2%、令和5年度77.5%となっている。今後も国の制度をうまく活用することで、被災農家の自己負担額が軽減されるよう支援に努める。



たちばな ふみ
(共産党市議員)



- 地方自治法改正について
- 原発は動かさない
- **命まもる猛暑対策について**
- こどもを取り巻く環境について
- 中海周遊サイクリング安全に

質問 学校体育館エアコン設置、市の取り組みは

こどもたちや教職員から「体育館での活動が辛い」と声が寄せられている。学校生活や部活動、スポ少の最中に熱中症警戒アラートが出た場合、適切なエアコン下での活動に切り替える必要がある。全国では体育館へのエアコン設置が進んでいる。こどもや教職員の命と健康を守るため、エアコン設置などを松江市としてどのように取り組むか伺う。

回答 調査結果を踏まえ方向性を検討する

全ての中核市に対し、市立小中学校の屋内運動場の空調設備設置状況について調査依頼し、設置している場合は整備計画や事業費、断熱設備工事の有無などを尋ねた。この結果を踏まえ、関係部署と連携を図りながら方向性を検討したい。



たなか あきこ
田中 明子
(公明クラブ)



- **消費者被害の防止について**
- 市民の健康に関する問題について
- 学校図書館について
- 防災・減災への対策について

質問 消費者被害が増加する中、消費者教育が重要と考えるがどう取り組むのか

高齢者の被害やトラブルが増加しているが、本人が消費者被害に気付かないケースもあり、家族や地域の見守りなど、どう対応するか。また、成年年齢の引き下げにより、若者が被害に巻き込まれないよう消費者教育が必要であると考えるが、松江市の実態と取り組みを伺う。

回答 第2次消費者教育推進計画に基づき、年齢に応じた教育の機会を設ける

松江警察署管内の令和5年中の特殊詐欺の被害状況は、高齢者の割合が54.5%と高く、10代と20代も22.7%と前年より約10ポイント上昇していることから、幅広い世代に消費者教育が必要と認識している。令和5年3月に策定した第2次松江市消費者教育推進計画に基づき、年齢やライフステージに応じた消費者教育の機会を設け、市民の安全・安心な消費生活に向け取り組む。



なかむら
中村 ひかり
(志翔の会)



- こどもまんなか社会
- **養育費確保支援**
- フリースクールとの連携
- 保育士の働きやすい環境整備
- 市立学校のグラウンド整備
- 国宝松江城マラソンの在り方

養育費の未払いは重要な課題として

質問 位置付けるべき

養育費の未払いはこどもの権利を侵害し、こどもまんなか社会を目指す松江市にとって重要な課題として位置付けるべきと考えるがいかがか。



回答 「(仮称)松江市こども計画」に盛り込む

こどもの健やかな成長に影響を及ぼすおそれがあることから、解決すべき問題であり、こどもの利益を実現するためには養育費の確保は重要な課題であると認識している。令和6年度に策定予定の「(仮称)松江市こども計画」においても、養育費の確保について盛り込みたい。



にしごおり のぶゆき
錦織 伸行
(会派に属しない議員)



- ピロリ菌と胃がん予防
- 現在行われている産後ケア事業
- 太陽光ソーラーパネル
- 自治会、町内会のあり方
- 本年の水郷祭
- 北朝鮮による拉致問題
- 松江市の景観
- **マンション反対の市民団体** 他6件

質問 松江市はマンション建設予定地を買い取る意思があるのか

市民団体「まつえ/風景会議」は、大阪の不動産会社まで出向き、様々なマンション建設計画の中止を依頼した。その折、先方は「松江市長からの正式な買取りの意向は届いていない」とのことであったが、市として買い取る意思があるのかを伺う。

回答 松江市が買い取ることは考えていない

松江市が買取りを検討する必然性はない。しかし、市民団体から買取りを検討する要望が出たことを受け、事業者に対し売却を考える場合の水準について確認したが、松江市が公示価格や不動産評価額を参考に算出する価格とはかけ離れた水準であったことから、本市が買い取ることは考えていない。



は せ が わ しゅうじ
長谷川 修二
(公明クラブ)



- 人口減少と共存する方法
- こども誰でも通園制度
- ヤングケアラー支援
- ふるさとの偉人の顕彰と教育
- 消防団員の処遇
- 自動運転バスの導入可能性
- 下水道の耐震化と災害時対応**
- クマ出没による安全対策 他1件

避難所となり得る公共施設へ浄化槽設備の 質問 設置を

4月に災害ボランティアへ行った石川県珠洲市では下水道が寸断していた。災害時に下水道が使えなくなると、トイレを我慢することで病気になったり、お風呂やシャワーも満足に使用できず不衛生な生活を強いられる。このことから、避難所となり得る公共施設へ、少なくとも1台の浄化槽設備の設置を提案するが所見を伺う。

回答 珠洲市などの事例を参考に衛生的な 生活環境の確保について検討していく

能登半島地震では、下水道施設が大規模な被害を受け、珠洲市でも地上部へ仮設の合併浄化槽を設置した事例を確認している。大規模災害時には仮設トイレや携帯・簡易トイレ、仮設の合併浄化槽など被害状況に応じた対応が必要と認識している。珠洲市などの事例を参考に、衛生的な生活環境の確保について検討していく。

「自転車マナーアップ街頭指導」 を実施！ (4/12)

松江市議会の提案により平成26年8月1日に施行した「松江市自転車安全利用条例」に基づき、自転車マナーアップ運動を展開しています。年2回の交通安全週間にあわせ、今年の春は4月12日(金)の早朝、松江市内26か所において、市議会議員も参加して街頭指導を行いました。令和5年4月から、自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務となり、早いもので1年以上が経過しました。今後も着用率を上げていくことを念頭に、自転車の安全利用に関する啓発活動を続けてまいります。



(矢田町での街頭指導)

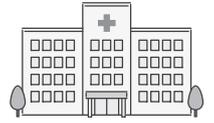
※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。



ふな き けんじ
舟木 健治
(共産党市議団)



- 誰もが安心して病院にかかれるまちづくりについて



質問 経済的な理由で受療できない人をつくらない 行政としての対策を

経済的な理由で必要な医療を受けることのできない人をつくらないまちづくりは行政の責任である。誰もが安心して病院にかかれるまちづくりとして、無料低額診療事業の必要性、生活保護の捕捉率の向上、国民健康保険法第44条に基づく一部負担金の減免、無料低額診療事業への公的支援、医療費支援事業の広報の仕方について市の見解を伺う。

回答 無料低額診療事業の周知を図るとともに 生活保護の申請相談を行う

当事業は生計困難者の受け皿となっており、総合病院と市の生活福祉課で連携体制を維持し、速やかに生活保護による医療扶助を行うよう努めていく。近年、国民健康保険法第44条による減免実績はないが、本市の緩和基準で一部免除している。当事業の周知を図るため、くらし相談支援センターで配布するリーフレットへの掲載を検討したい。

9月定例会日程

月	日	曜日	会 議 名
9	3	火	本会議(会期の決定、提案説明、決算特別委員会設置) 決算特別委員会 (正副委員長互選)
	9	月	本会議 (一般質問)
	10	火	本会議 (一般質問)
	11	水	本会議 (一般質問、議案質疑、委員会付託)
	13	金	決算特別委員会 (質疑、分科会分担・委託)
	17	火	総務委員会・㊦総務分科会・㊧総務分科会 教育民生委員会・㊨教育民生分科会・㊩教育民生分科会
	18	水	総務委員会・㊦総務分科会・㊧総務分科会 教育民生委員会・㊨教育民生分科会・㊩教育民生分科会 建設環境委員会現地視察
	19	木	経済委員会・㊪経済分科会・㊫経済分科会 建設環境委員会・㊬建設環境分科会・㊭建設環境分科会
20	金	経済委員会・㊪経済分科会・㊫経済分科会 建設環境委員会・㊬建設環境分科会・㊭建設環境分科会	
26	木	決算特別委員会 (分科会長報告・質疑、討論、採決) 予算委員会 (分科会長報告・質疑、討論、採決)	
10	1	火	本会議 (委員長報告・質疑、討論、採決)

※㊦は予算委員会、㊧は決算特別委員会 (議会事務局 TEL 55-5432)

9月定例会は9月3日からはじまります。

日程についてはこちら▶



令和6年4月臨時会・令和6年6月定例会の議員別表決結果

賛否の分かれたもの（委員会提出議案第2号については4月臨時会提出議案）

議案等番号	案 件 名	委員会の 審査結果	志翔の会						
			中 村 ひ か り	村 松 り え	岩 本 雅 之	川 島 光 雅	石 倉 徳 章	石 倉 茂 美	南 波 巖
市長提出議案									
議 第 86 号	松江市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議 第 87 号	松江市児童クラブ条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案									
議員提出議案第6号	中国横断新幹線（伯備新幹線）及び山陰新幹線の整備促進を求める意見書について	委員会付託省略	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案									
委員会提出議案第2号	松江市議会議員定数条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情									
陳情 第 55 号	訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情 第 56 号	（仮称）殿町プロジェクト マンション棟 計画地の取得について	不採択	○	○	○	○	○	○	○

全会一致で可決・承認したもの（議第80号については4月臨時会提出議案）

市長提出議案		議員提出議案	
議案等番号	案 件 名	議案等番号	案 件 名
議 第 80 号	令和6年度松江市一般会計補正予算（第1号）	議 第 107 号	令和6年度松江市一般会計補正予算（第2号）
議 第 81 号	松江市職員の給与に関する条例の一部改正について	議 第 108 号	令和6年度松江市企業団地事業特別会計補正予算（第1号）
議 第 82 号	松江市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について	議 第 109 号	玉造温泉地域地熱発電設備等設置工事の請負契約締結について
議 第 83 号	松江市税賦課徴収条例の一部改正について	議 第 110 号	令和6年度松江市一般会計補正予算（第3号）
議 第 84 号	松江市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部改正について	議 第 111 号	令和6年度松江市一般会計補正予算（第4号）
議 第 85 号	松江市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	承認 第 2 号	専決処分の報告について（松江市税賦課徴収条例及び松江市都市計画税条例の一部改正について）
議 第 88 号	松江市普通公園条例の一部改正について	承認 第 3 号	専決処分の報告について（松江市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について）
議 第 89 号	松江市公営企業の設置等に関する条例及び松江市生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	承認 第 4 号	専決処分の報告について（松江市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について）
議 第 90 号	松江市防災行政無線（デジタル同報系）更新工事の請負契約締結について	承認 第 5 号	専決処分の報告について（令和5年度松江市一般会計補正予算（第10号））
議 第 91 号	松江市総合体育館改修整備管理運営事業施設整備業務の請負契約締結について	承認 第 6 号	専決処分の報告について（令和5年度松江市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号））
議 第 92 号	高機能消防指令センター整備工事の請負契約締結について	承認 第 7 号	専決処分の報告について（令和5年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計補正予算（第4号））
議 第 93 号	松江市立損屋小学校校長寿命化改良（建築）工事の請負契約締結について	承認 第 8 号	専決処分の報告について（令和5年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第4号））
議 第 94 号	松江市立損屋小学校校長寿命化改良（電気設備）工事の請負契約締結について	承認 第 9 号	専決処分の報告について（令和5年度松江市介護保険事業特別会計補正予算（第5号））
議 第 95 号	東出雲公民館（損屋ふれあい会館）解体工事の請負契約締結について		
議 第 96 号	財産の取得について	議員提出議案	
議 第 97 号	財産の取得について	議員提出議案第4号	地方財政の充実・強化に関する意見書について
議 第 98 号	財産の取得について	議員提出議案第5号	緊急防災・減災事業債制度の継続・拡充を求める意見書について
議 第 99 号	財産の処分について		
議 第 100 号	新たに生じた土地の確認について	請願・陳情	
議 第 101 号	町及び字の区域の変更について	議案等番号	案 件 名
議 第 102 号	公の施設の区域外設置に関する協議について	陳情 第 57 号	コロナワクチン接種後の体調不良に関する相談窓口の開設について
議 第 103 号	市道路線の廃止について	陳情 第 58 号	8回目のコロナワクチン接種に際して60歳～64歳までの既往症のある方に接種券を個人的に送ることを止めるよう求める陳情
議 第 104 号	市道路線の認定について		
議 第 105 号	議決事項の一部変更について		
議 第 106 号	指定管理者の指定について		

この表は電子表決の集計結果に基づき作成しており、賛否が分かれた議案等について結果をお知らせします。

○：賛成 ●：反対 議：議長 除：除斥 空欄：欠席、不在等

賛否状況																				議決結果					
松政クラブ					明政会					民主ネットワーク				公明クラブ			共産党市議団		無所属						
小澤	原田	野々内	吉金	森脇	三島	三島	三島	細木	米田	柳原	森脇	立脇	山根	森本	津森	川井	海徳	太田	長谷川	田中	た	舟	錦		
			議																		ふ	木	織		
			議																		み	健	伸		
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決	
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※議員の賛否の状況は、委員会に付託した場合は委員会の審査結果に対する賛否となります。

陳情審査結果

不採択となったもの

請願・陳情についてはこちら
(松江市議会ホームページへ)



陳情 第55号	訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について	(陳情者) 島根県自治体労働組合総連合(しまね自治労連) 執行委員長 塩治 隆彦 しまね介護福祉ユニオンBONDS 執行委員長 石田 忍
	(委員の意見:教育民生委員会) ・中山間地域は都市部に比べて移動距離の点で不利となるが、新たな加算措置が設けられるなど、一定の配慮はされているものと考え、不採択。 ・行政と事業者がしっかりと連携をとり、事業者の不利益がないようにしてほしい。改定の影響について現時点ではわからない部分もあり、今後の動向を踏まえる必要があることから、不採択。 ・陳情者の趣旨は、国の仕組みとして基本報酬部分の引き下げにより、加算を活用しても赤字になるおそれがあるとの不安の声が事業者から出ているほか、ベースアップについても財源が明確でなく、処遇改善につながらないということであり、こうした不安を解消していくためにも、採択。	
陳情 第56号	(仮称)殿町プロジェクト マンション棟 計画地の取得について	(陳情者) まつえ/風景会議 代表 本間 順一
	(委員の意見:建設環境委員会) ・現行の法令等に適合しており、現在、建設が進められている。また、市として事業等の計画もない。今回の事例をつくってしまうと、今後、類似の事例があった場合に多大な影響が生じると考え、不採択。 ・市長は、土地の購入や交換は行わない、交渉もしないという話である。陳情者の気持ちや趣旨は分かるが、趣旨採択はないので、不採択でやむを得ないと考える。 ・殿町のまちづくり拠点施設用地としての活用について、地区からの要望等もない中では課題がある。土地の取得について金額的なことや将来的なことも分からない状態で、議会として採択することは難しいと考えるため、不採択。 ・議会としては予算の提案はできないため、会派や議員が提案や意見を言うことはできても、議会として多額の税金をかけて買い取るということを採用することは厳しいと考えるため、不採択。 ・買取り額や経済効果の試算をしていない中で、買取りという判断をすることは厳しいと考えるため、陳情者の思いは分かるが、不採択。 ・今回の代替地の提案等は、行政が市民と一緒に解決方法を考えてほしいということだと受け止めた。この市民の願いが松江市の将来に役立つとすれば、陳情を採用して再考を促すことは議会の役目だと考え、この陳情は採択すべき。	
陳情 第57号	コロナワクチン接種後の体調不良に関する相談窓口の開設について	(陳情者) 市民に開かれた松江市議会を応援する会 古志 千樹
	(委員の意見:教育民生委員会) ・現在、相談窓口がないわけではなく、仮に医師が認めてくれない場合には、新たな医療機関につなぐことで陳情者の趣旨は達成されると考え、不採択。 ・市民からの相談については現在も対応しており、健康被害については調査委員会を経由して所要の手続きを経て対応できていることから、不採択。	
陳情 第58号	8回目のコロナワクチン接種に際して60歳~64歳までの既往症のある方に接種券を個人的に送ることを止めるよう求める陳情	(陳情者) 市民に開かれた松江市議会を応援する会 古志 千樹
	(委員の意見:教育民生委員会) ・申請の負担を軽減する点から送付するものであり、接種を希望される方は医療機関に行き、医師とのやりとりの中でリスクについて話をされることとなり、安全には配慮されているものと考え、不採択。	

委員会視察報告

総務委員会

～松本城の保存・活用と整備基本計画などについて視察～

令和6年5月14日～5月16日
委員長 森脇 勇人

【長野県松本市】松本城の保存・活用と整備基本計画について

【埼玉県熊谷市】スポーツコミッションについて

【埼玉県川越市】重要伝統的建造物群保存地区について

松本市では、松江城と同じく国宝に指定されている松本城の保存・活用と整備基本計画について視察を行いました。令和6年3月に「史跡松本城整備基本計画」を策定し「幕末期の松本城の姿を可能な限り具現化」を最終目標に、この10年間では近代に埋め立てられた外堀の復元、現存の堀のしゅん濘に取り組むこととしています。国宝天守に関心が向きがちになりますが、周りの堀や石垣、地下に埋もれた遺構などの史跡にも市民に関心を持ってもらえるよう、今後50年先を見通した計画になっており、本年度策定に着手する松江城の整備基本計画の参考となるものと考えます。

また、城と街並みの調和に関して、松本城から北アル

プスなどの山並みを借景とする眺望を重要視し、景観対策や建物の高度規制を行っています。このほか、松本城での現地視察を行い、松本城天守内に設置された防火設備が周りにとけこむ形で設置されている様子などを確認しました。

このほか、熊谷市ではスポーツコミッションの取り組みについて、川越市では重要伝統的建造物群保存地区の取り組みについて視察を行いました。いずれの事例も、令和6年度予算で松江市が取り組む事業であり、本市の取り組みの参考とするべく、議会活動の中でしっかりと生かしていきます。



〈松本城での現地視察（長野県松本市）〉

教育民生委員会

～グローバル・スタディ、養育費確保支援、終活支援、AIドリル教材について視察～

令和6年5月21日～5月23日
委員長 米田 ときこ

【埼玉県さいたま市】学力向上対策（グローバル・スタディの推進）について

【神奈川県横須賀市】養育費確保支援事業について
終活支援（わたしの終活登録）について

【東京都足立区】AI型ドリル教材を活用した基礎学力定着支援について

さいたま市のグローバル・スタディとは、義務教育期間の一貫した英語教育で、中学3年生で英語検定3級相当の割合が5年連続全国1位（88.4%）という成果を出しています。学年に応じ、カードや写真などを活用して英語に慣れ親しむ低学年、日常会話を中心に、総合的な学習の時間にまちの偉人を調べ、英語で発表する中学年、コミュニケーション活動を中心とした高学年、英語でのディベート・ディスカッションに取り組む中学生、市独自のオリジナル指導用教材等も作成しています。

横須賀市は、養育費確保支援として養育費相談と費用補助に取り組んでいます。養育費相談では、家庭裁判所

元調停委員、または弁護士の2種類の相談体制を整えています。費用補助として、公正証書等作成費用と養育費保証料の補助を行っています。終活支援では、独居で身寄りのない低所得の方々に登録してもらうことで、登録者が亡くなった際、低額での葬儀や墓地への納骨等、本人の生前の意向に沿った終活ができていたとのことでした。

足立区では、タブレット端末やパソコンで利用できるAIドリル教材を活用した個別最適な学びの支援に取り組んでいます。誤答の傾向をAIが解析して出題することで、個々のつまずきに寄り添い、こどもが自信を高めています。AIドリルが学力定着に生かされていることを感じました。

いずれの自治体も、誰一人取り残さない教育や生活を確立しようと懸命に努力・工夫されています。松江市でも、今回の視察を生かした取り組みを進めていきたいと思います。



〈養育費確保支援についての説明（横須賀市役所）〉

経済委員会

～にぎわい創出、企業誘致、 インバウンド推進事業を視察～

令和6年5月15日～5月17日
委員長 森本 秀歳

- 【福岡県大牟田市】 まちなかの活性化に向けて
- 【熊本県】 企業誘致について
- 【佐賀県佐賀市】 デジタルマーケティングを活用したインバウンド観光推進業務について

大牟田市はかつて炭鉱の町として栄えていましたが、現在は新規創業支援や企業支援にあわせ、駅周辺の商業地のにぎわい創出に力を入れています。特に若い人たちが中心となって開催しているワークショップでは、様々なアイデアが出され、それらが着実に実を結んでいることが印象的でした。

熊本県では、県庁の商工労働部を訪問し、菊陽町に誘致された台湾半導体メーカー「T S M C」について聞きました。熊本県には以前より半導体工場が集積しており、コロナ禍で半導体が不足し、自国での生産が必要となったことから、国策として誘致が決まりました。誘致に際し、集積強化に係る部会を設置し、人材育成や確保、交

通アクセス向上、生活サポート、環境保全など多岐にわたる課題や、事前に懸念される事項についても検討されていて、参考になりました。

佐賀市は、コロナ禍以前はインバウンド観光客が増加傾向にあり、アフターコロナを見据えた更なる誘客策として、デジタルマーケティングを活用した推進事業に取り組んでいます。佐賀市の観光素材を生かしたイメージ動画を作成し、見た人に印象付けるもので、更にはSNS等を通じてインターネット上で大きな発信力、影響力を持つインフルエンサーを招いて発信してもらうなどの取り組みを進めることとしています。



〈インバウンド観光推進事業についての説明（佐賀市役所）〉

建設環境委員会

～ごみ減量対策、地域資源循環、 最新の建設技術について視察～

令和6年5月14日～5月16日
委員長 石倉 徳章

- 【神奈川県座間市】 ごみ減量対策「DXごみ収集」について
- 【国土交通省】 最新の建設技術等について
- 【東京都調布市】 超小型バイオガスプラントを活用した地域資源循環の実証実験について

座間市では、ごみ減量対策「DXごみ収集」について視察しました。環境省リユースモデル事業に採択された事業や、企業と連携した独自のリユース・リサイクルに関する取り組みを進めていました。特に、小田急電鉄株式会社との協定締結による連携業務の1つである塵芥収集支援システムによるDX収集の実証実験では、業務の効率改善が図られており、職員のモチベーションの向上にもつながっているとのことでした。松江市のごみ減量化、再資源化を進めるうえで参考となりました。

調布市では、超小型バイオガスプラントを活用した地域資源循環の実証実験について視察しました。NTT東日本グループとの連携事業である学校給食調理残渣の再

資源化と環境学習の取り組みでは、食育の推進を目的に、都市型資源循環モデルを学ぶ取り組みを進めていました。市立小・中学校や保育園、地域と連携し、SDGsの達成や環境学習、食育の取り組みの充実など、多面的効果の創出につながる地域資源循環を学ぶことができました。

また、国土交通省の建設技術展示館では、最新の建設技術等について視察しました。



〈最新の建設技術等についての説明（国土交通省 建設技術展示館）〉

島根原子力発電対策特別委員会 (6/26 開催)

島根原子力発電所2号機的设计及び工事の計画の認可並びに原子炉施設保安規定の認可について

原子力規制委員会で審査されていた、島根原子力発電所2号機の「設計及び工事の計画」(令和5年8月30日認可)及び「原子炉施設保安規定」(令和6年5月30日認可)について原子力規制庁から説明がありました。「設計及び工事の計画」については、耐震設計や耐津波設計などの審査内容について、また「原子炉保安規定」については、非公開ガイドの誤廃棄もあり、「安全文化」に関するところを重点的に審査を行ったと説明がありました。

説明を受けたのち、委員から「意図的な航空機の衝突といったテロ対策について」、「中国電力の過去の不適切事案と安全文化の醸成の取り組みについて」、「能登半島地震と同程度の地震が島根で起こった場合の安全性はどうか」などの質疑がありました。

総合交通対策特別委員会 (7/4 開催)

路線バス交通等の状況について

一畑バス株式会社・市交通局・市まちづくり部より、深刻な運転手不足や2024問題に対応するため10月に路線・ダイヤ等の見直しを検討していること、「公共交通で暮らしやすい未来を実現するプロジェクトチーム」を立ち上げ、バス路線維持のための人材確保や利用者の利便性向上の取り組みを進めていること、AIデマンドバスの運行実績を分析し、乗合率向上のための対策を実施していくことなどの説明を受けました。

委員からは、移住を含めた運転手確保対策について質疑があり「本市では、運転手に限った移住対策は今のところないので、今後、県や市の定住部署とも連携し、他市の状況なども参考にしつつ検討していきたい。今秋には、一畑バス、交通局、タクシー事業者と共同で本市主催の乗車体験会・就職フェアの開催を予定しており、県外に向け情報発信したい」との答弁がありました。



マチイロ

まちを好きになるアプリ
マチイロ



松江市議会では、自治体広報アプリ「マチイロ」でも市議会だよりを配信しておりますので、ぜひ、アプリをご活用ください。

編集後記

これを書いている現在、梅雨真っ最中のじめじめした天気が続いています。今定例会から、松江市議会にもタブレットが本格的に導入されました。議会中継を見て下さる市民の方々の中には、慣れない手つきでタブレットの操作をする議員の様子に気づかれた方もいらっしゃるのではないでしょうか。

新庁舎建設特別委員会 (7/2 開催)

新庁舎整備工事について

財政部より「新庁舎第2期棟工事の状況として、基礎工事と地下1階部分の躯体工事を進めている。今後工事が進むと、現在運用中の第1期棟と工事中の第2期棟の接続時に大きな音や振動が発生するため、工夫しながらやっていく」などの説明がありました。

委員から、接続工事時の具体的な工夫について質疑があり「閉庁時間帯にできることは最大限やっていく。また、第1期棟に近いところでの工事は、小さな機械で音を小さく、遠いところは大きな機械でまとめて作業するなど工程を調整していく」との答弁がありました。

このほか、2024松江水郷祭での新庁舎テラスの活用について説明がありました。

議長の公務 (主なもの)

- 4/7: プラバホールオープニング式典
- 4/20: 宝塚市市政70周年記念式典
- 5/13: 中国横断新幹線(伯備新幹線)及び
中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議
- 5/21: 島根県市議会議長会地元選出国会議員意見
交換会
- 5/26: 近畿松江会
- 6/9: 松江市消防操法大会



〈消防操法大会で挨拶する吉金議長〉

松江市議会はペーパーレス化を目指しています。デジタル化による利便性の向上と、環境負荷の軽減につながればと思います。市議会だよりも「マチイロ」というアプリでデジタル化された紙面を見ることができます。これからも、紙の文化は大切にしつつ、デジタル化にも丁寧に取り組んでまいります。

議会広報等委員 村松 りえ

「市議会だより」へのご意見をお寄せください

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等委員会(松江市議会事務局)

電話(0852)55-5053 ファックス(0852)55-5533
議会事務局メールアドレス gjji@city.matsue.lg.jp

松江市議会

